

アルトリア グループ(MO)

【セクター】 生活必需品

【市場】 NYSE

【企業概要】

米国最大のたばこメーカーです。「マールポロ」が主カブランドで、同ブランドは19年1-3月期の米国紙巻たばこの市場で43.1%のトップシェアを保持しています。フィリップモリスインターナショナルは2008年に分離した兄弟会社で、同社が海外市場、アルトリアが米国市場をそれぞれ担当する役割分担をしています。18年12月期の売上構成比（物品税を除く売上）は、有煙たばこが85.1%、無煙たばこが10.9%、ワインが3.4%、その他が0.6%です。世界最大のビール会社アンハイザーブッシュインペブの株式10%を保有する大株主です。

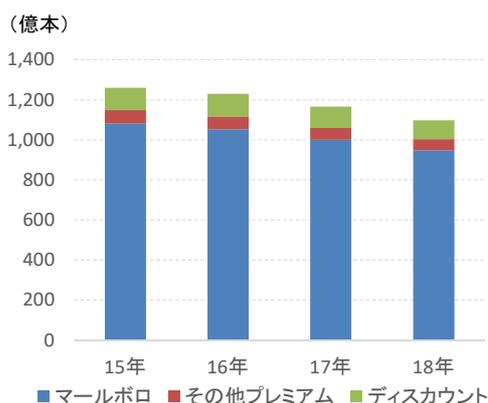
【業績】（単位：売上、純利益は百万ドル、EPS、DPS、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%）

決算期	売上高	純利益	EPS	DPS	BPS	ROE	自己資本比率
17年12月期	19,494	6,564	3.41	2.54	8.1	46.6	35.7
18年12月期	19,627	7,531	3.99	3.00	7.9	49.9	26.7
19年12月期予想	19,857	7,879	4.21	3.30	5.5	51.9	-

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

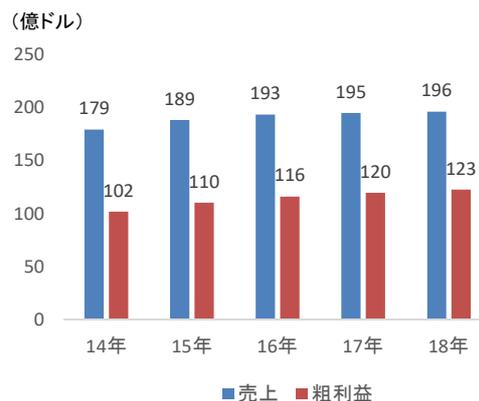
【主要指標】

図表1 紙巻たばこの販売本数



(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

図表2 売上と粗利益の推移



(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

【会社の見方】

たばこの消費本数が継続的に減少する中、価格引き上げによって売上維持し、生産性の向上やコスト削減によって利益の増加を目指しています。一方、兄弟会社フィリップモリスインターナショナルが開発した加熱式たばこ「IQOS」の米国での独占販売権、株式の45%を保有するカナダの医療用大麻のクロノスグループ、株式の35%を保有する電子たばこのJUULなどによって、紙巻たばこ事業への依存度を下げることに注力しています。ただし、JUULはフレーバー付きの電子たばこが販売禁止となる地域が増えて、ビジネス展開の見直しが必要になっています。純利益の7割以上を配当して、株式市場では配当利回りに注目して投資されることが多い銘柄となっています。

【見通し・注目点】

19年7-9月期は、JUULに関する減損損失を45億ドル計上したものの、これを一時要因として除いた業績は売上が前年同期比2%増、EPSは同10%増で市場予想を上回って堅調でした。成人の喫煙習慣が加熱式たばこや電子たばこなどによって多様化することはビジネスチャンスにつながるとして、「2020年から2023年にかけての調整後EPSの年間成長率として5~8%」を掲げています。

(SBI証券 投資情報部 榮 聡)

(更新日 19/11/6)

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。